

もしものとき、どうする？「我が事」と「社会事」

家族と話そう!! 臓器提供・臓器移植



臓器提供・臓器移植とは？

病気や事故によって臓器の機能が低下し、移植でしか治らない人に、他の人の臓器を移植し健康を回復する医療です。健康な人からの生体移植と亡くなった方からの提供による移植があります。亡くなった方からの臓器提供には脳死下と心臓が停止した死後の提供できる臓器は異なります。

ドナー　臓器を提供する人（臓器提供は、**家族**の承諾が必要なため、意思表示をして話し合っておくことが大切です。もしものとき、家族が困らないためにも、事前に話し合っておきましょう。）（善意に基づく無償の提供ですので、臓器提供者の方には提供に関する費用は一切かかりません。）

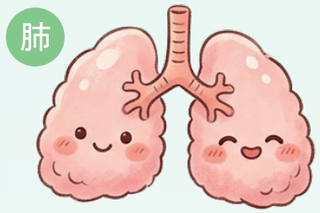
レシピエント　臓器移植を受ける人、もしくは受けた人。

脳死　脳全体の機能が失われた状態。（回復する可能性はありません。植物状態とはまったく異なります。）

脳死後に移植できる臓器　心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球（**1人**のドナーから**最大11人**のレシピエントを救うことができます。）

歴史
1963年　世界初・・・脳死肝臓移植（アメリカ）
1997年　日本「臓器の移植に関する法律」施行
2008年　国際移植学会による「イスタンブール宣言」
2010年　日本「改正 臓器の移植に関する法律」施行

免疫抑制剤　移植を受けた人は一生飲み続ける必要があります。

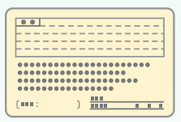


4つの権利とは？

「**提供する**」「**提供しない**」「**移植を受ける**」「**移植を受けない**」です。
どれも自由に選べて、いつでも変更できます。答えが出ない時はゆっくり考えましょう。

日本における意思表示の方法とは？


マイナンバーカードの表


運転免許証の裏



意思表示カード



インターネット

「提供する」だけではなく、「提供しない」という意思も表示できます。「提供する」意思の表示は民法上の遺言可能年齢の15歳以上が有効です。「提供しない」意思は何歳からでも有効です。

世界と日本を比べると？（臓器提供者数：人口100万人比）


スペイン
53.93人


アメリカ
49.70人


日本
1.13人

出典：IRODat(DTI Foundation)2024年

臓器提供・移植の流れ

入院（医師・看護師・検査技師）→ **説明**（移植コーディネーター・メディエーター）→
家族の意思決定 → **法的脳死判定** → **公平に選定**（日本臓器移植ネットワーク）→
摘出手術 → **搬送** → **移植手術** → **術後の生活**

※（　）内は主に医療従事者の方々（実際は、医療従事者の方々以外に警察・消防・行政等も関わります）

家庭と学校とのつながり



①死生観
「**家族と話そう！！シート**（添付データあり）」を使って家族と話し合ってみよう！

②主に道徳や探究学習など多様なつながりがあります。
国語・理科・社会・保健・家庭科・道徳・総合的な探究の時間等を通じて考えを深めよう！
「**社会のみらい探究ワークシート**（添付データあり）」を使って
調べて（収集）▶ **まとめて**（分析）▶ **発表**（表現）▶ **問いの設定**（発見）してみよう！

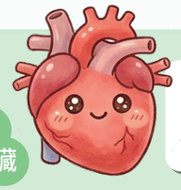
★当事者の手記を読んでみよう！

★マンガ教材「つながるいのち」・
映画教材「サンクスレター」あります

③課題は？～様々な角度から～
（例）脳死と植物状態との違いは？日本における希望登録者数や待機年数は？オプティング-イン（アメリカや韓国や日本等）とオプティング-アウト（スペインやフランス等）とは？日本における小児の提供・移植の課題とは？日本で生体移植が多いのはなぜだろう？意思表示率や家族との対話率は？

厚生労働科学研究費補助金
「国内の移植医療推進10カ年戦略に関する研究」において作成





復習にピッタリ！
「グリーンリボン検定」にチャレンジして
プレゼントをgetしよう！！

グリーンリボンは移植医療のシンボルです

臓器移植　検索

監修：（公社）日本臓器移植ネットワーク